

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」  
実社会対応プログラム進捗評価結果表

課題(研究領域)	規制改革の評価分析
研究テーマ名	短期賃貸借保護制度撤廃による不動産競売市場・規制改革の効果分析
研究代表者	福井 秀夫
所属機関・部局・職	政策研究大学院大学・政策研究科・教授
研究成果の総合評点: <b>A</b>	
これまでの研究成果に係る所見	
<p>短期賃貸借保護制度撤廃による不動産競売市場の影響について、データを収集し、切断回帰モデルを用いて推定するという研究計画は遂行されて、論文も発表されている。その意味で、本事業の目的に照らして、十分な成果があったと判断できる。また、本研究は、短期賃貸借保護制度という特定の「規制」の効果进行分析する目的で問題が設定されている一方で、この研究成果に基づいて、より一般的な規制改革全般への汎用性が、今後の課題としてあげられている点が評価できる。</p>	
研究期間の延長に係る所見	
<p>元の研究計画は、目標を十分に達成していると判断できるが、ここまでの分析で、短期賃貸借保護制度の影響を純粹に取り出すために、データを拡充する必要性が明らかになった。</p> <p>本延長計画は、研究を実施してきて、その結果明らかになったそうした課題を継続して研究するという点で自然であると判断できる。また、この研究の課題(研究領域)は「規制改革の評価分析」であるが、本研究を通じての規制改革論の汎用性を論じるだけでなく、研究の延長により、当該事例についての、より広い観点からの分析を進めることが望ましい。</p> <p>さらに、本研究テーマは、今日でもなお規制改革が必要な分野に関するものであり、本研究が継続されることに価値がある。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記の通り。

- S. 事業の目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 事業の目的に照らして、十分な成果があった
- B. 事業の目的に照らして、相応の成果があったとはいえない
- C. 成果がなかった